

令和5年度
学校だより No.11

北山っ子

茅野市立北山小学校
令和6年1月31日(水)
校長 宮坂 哲生

3学期が始まり、一ヶ月が経ちます。保護者の皆様には、子ども達の学校生活をお支えいただき、本当にありがとうございます。寒い日が続いていると、どうしても身がかたくなります。子どもは風の子といいますが、子どもたちだって、寒い日や天気がよくない日は、踏み出す一歩がいつもより小さくなります。そんな気持ちを受け止めながら、その子なりにがんばっている姿を認め、保護者の皆様と共に支えていきたいと思ひます。



いざという時のために

年明け早々、悲しいできごとがありました。能登半島地震に遭われた皆様は、1年の中でも幸せを感じる時が一転し、今は冬の寒さ、厳しさに耐えながら、つらく苦しい日々を過ごしています。どうか無事でいてほしいと思うと共に、一日でも早い復興を願うばかりです。

子ども達の言葉からも、不安な気持ちを抱いたことが伺えました。ありがたいと思ひたのは、こうした地震が起きたときにどのように行動すればよいか、話しあっていただいたご家庭が多くあったことです。

人ごとではなく、発生のXデーが近づいているといわれる南海トラフ地震。前回の地震からすでに80年近くがたっており、心配な時期に入り始めています。資料によって差はありますが、我々の住む地域も震度5弱~5強の揺れが推測されます。言うまでもなく、地震はいつ起こるか分からず、校外・登下校時に地震が発生した場合には、「落ちてこない・倒れてこない・移動してこない」場所へ移動することを、学校でも確認していきたいと思ひます。

9月の避難訓練の際に、“8秒”の話をしました。大きな地震が起こったときは、だいたい8秒以内に自分の身を守る行動をとることが求められます。とても短い時間です。8秒以内に机の下に入って、頭を守る。学校に来る途中であれば、ランドセルなど身近なもので頭を守る。物が落ちてきそうな、何か倒れてきそうな場所であれば、そこから離れる等の行動が求められます。たった一つの命を守るための判断力が必要です。子ども達には、勇気を出して、自分の命を守る努力をすることを伝えていきたいと思ひます。



震度5強の地震発生の場合、災害対策本部が設置されます。夜間や休日に地震が起こった場合は、お子さん達の安否確認を行わせて頂きますが、連絡が繋がりにくい状態になることが予想されます。一番確実な方法として、リバーにお子さんのその時の状況を入れてもらう事をお願いします。また、学校において震度5強以上の地震が発生した場合の帰宅方法ですが、道路状況にもよりますが、お迎えに来ていただき、引渡により子ども達を帰宅させるようになります。ご協力を、よろしくお願ひします。

スキーを楽しむ

北山小は、近くにスキー場がいくつもある、とても恵まれた場所にあります。1月19日にスキー教室に行ってきました。子ども達は、みんなよく頑張り、気持ちよく滑っていました。中には、汗をたくさんかきながら、滑っている子もいました。その中で、スキーの楽しさを大いに味わっていたと思ひます。私が考えるスキーの楽しさは、風を受けて滑る気持ちよさ、そして、出来なかったことが出来るようになる楽しさ。それから、周りの美しい



景色を楽しめる事だと思います。子ども達は午前よりも午後の方が、滑るスピードも増し、滑りもしっかりしてきました。その合間で「車山の観測所が見えるよ」など、周りの景色も楽しんでいました。

子ども達の経験の度合いは様々でしたが、インストラクターのみなさんが、手厚く分かりやすく教えてくださり、おかげで楽しい一日を過ごすことが出来ました。インストラクターさんだけでなく、スキー場の方お一人お一人が細やかな配慮により、子ども達の安全を守ってくれました。大変に感謝しております。

閉校式で子ども達に聞くと、転んだという子も結構いました。そのような時、子ども達は何とか自分で起き上がろうとし、周りの子はそれを助けようとし、あるいは「よいしょっ」「がんばれ」と声をかけたりしていました。北山小の子ども達は、やさしくてたくましいと思いました。

地域のみなさまと共に

改めてになりますが、子どもたちには、ふるさとに誇りをもって欲しいと思っています。今年も、学校でできることは限られていますが、北山の魅力や歴史を伝えたり、外に出かけ地域の方と関わり、教室では学べないことを五感で感じさせたりしたいと思っています。以下のことができればと思います。

(1) 地域に出かける

地域の方から、“こんなことしてみたら”“ここに来てよ”というお誘いをよく受けます。2学期に、1.2年生とさくら・ひまわり学級の子ども達は、「北ハケ岳ロープウェイ」にのって、ハケ岳の自然を散策し、「蓼科高原美術館・矢崎虎夫記念館」を鑑賞しました。生活・総合と関連させながら、無理なく可能な範囲で、子ども達がふるさとを知る・楽しむ機会を作っていきたいと思っています。



(2) 地域のよさを知る

北山の歴史を紹介しようと、3学期始めの校長講話で、「諏訪鉄山」のことを子ども達に伝えました。難しい内容の話だったのですが、当時の小学生のエピソードなどに、関心が向いていたようです。そういう実体験をお持ちの地域の方に、子どもたちの生活などお話し頂く機会を設けることも考えたいと思います。



(3) 地域の方と共に

地域の方から、学校のために何かしたいというお声を頂き、感謝しております。そこで地域ボランティアを立ち上げ、一緒に子育てをしてもらおうと考えました。現在23名の方に登録してもらっています。個人情報の扱い等ご理解頂いた上で、必要なときに必要な手助けを求め、可能なときに可能な手助けをしてもらい、持続可能な形にしたいと考えています。

お知らせとお願い

○依然、かぜ、インフルエンザなどの広がりが心配される状況です。手洗いや換気に努め、少しでも体調の変化がある場合はご家庭と連絡を取り、お家でしっかり休んでもらうようにしたいと思います。ご協力をよろしくお願いします。

○大谷翔平選手が、全国の子どもたちに野球を楽しんでもらおうと、すべての小学校に順番にグローブを送ってくれています。先日、北山小学校にもそれが届きました。右利き用が2つ、左利き用が1つの計3つです。先日全校のみんなに紹介しました。今後は休み時間などに使うことができます。



大谷選手は、高校を卒業してプロ野球選手になったとき、「二刀流」挑戦について様々な人から無理だと言われ、反対されました。それでも「無理だと思ったら終わり」と、努力を続けました。そんな大谷選手のように、自分を信じてがんばることを、子ども達にも大事にしてほしいと思います。